

中学校の理科の先生方へ



今年の高校入試を分析したら、こんなことがわかりました！

合格者の理科の平均点は、53.4点
短答式で知識を問う問題の正答率が高い



正答率の低かった問題を見てみましょう！

< 物理的領域 > では...

つりあっている力のうち、1つの力の大きさを答える問題が、10.1%
浮力の大きさや物体の体積、重さとの関係について答える問題が、15.3%
全部水中に沈めた物体にはたらく重力の大きさを答える問題が、22.7%
力のはたらきについて理解する力や実験の結果を分析、解釈し、説明する力が不足

- ・実験の結果からわかることを、自分の言葉でまとめさせたり、話し合ったりする活動を取り入れましょう！
- ・身近なところに存在している力について、実験等を通じて実感させ、力についてのイメージを助ける工夫をしましょう！

< 化学的領域 > では...

気体の種類を化学式で答える問題が、25.2%
電池の中で起こっている変化について答える問題が、39.7%
化学式を理解する力や、イオンの生成に関して理解する力が不足

- ・基本的な化学式については、複数の領域や単元で繰り返し学習する機会を取り入れ、確実に定着させるようにしましょう！
- ・モデルを使ったり、文章から必要な情報を読みとらせたりして、イオンの生成について考えさせましょう！

< 生物的領域 > では...

生殖細胞の染色体のモデル図をかく問題が、48.8%
体細胞分裂と減数分裂の違いを理解する力が不足

染色体のモデルを使って、体細胞分裂と減数分裂の違いを説明させるなどの活動を取り入れましょう！

< 地学的領域 > では...

既存の知識と与えられた情報を基に、月の位置や見える形を答える問題が、それぞれ20.9%、25.6%
既存の知識と与えられた情報を基に、太陽の動きを答える問題が、35.7%
太陽の動きや月の見え方などについて理解する力が不足

太陽や月の動きや見え方などについて、新聞記事などの身近な素材を使って日常的に考える機会を設けましょう！



日々の授業が変われば、生徒の学力は身に付きます！

くわしい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！